

令和6年度が始まりました。  
今年度もよろしく願っています。

## 第54回 入学式

令和6年4月8日（月） 第54回 入学式が行われました。今年度の入学生は187名。2年生が179名、3年生が163名で、全校生は529名となり、久しぶりに全校生徒の数が増加に転じた年になりました。

入学式は、新入生と保護者のみで行いましたが、午前中に2、3年生が準備を行いました。

式の中では、寒河江中部小学校出身の日下部瑠々さんが、新入生代表の言葉を、堂々とのべました。

陵南新聞

第345号

編集・発行責任者  
陵南中学校  
茂木 隆



「新しい出会いに、希望があふれ、夢が広がる春。たくさんの方に見守られ、入学式を迎えることができたことをとてもうれしく思います。真新しい制服に身をつつみ、中学校生活スタートの場に立つ今、中学生としての目標を明確に持ち、なりたい自分に近づけるよう努力していきたいと決意しています。

学習面では、授業科目が増え、学ぶ内容も難しくなっていくことから、日々の授業を大切にしていこうと必要があると思います。また、中学校では定期テストも始まるため、予習や復習を含め、家庭での学習にも力を入れていきたいです。クラスの仲間とともに、充実した授業を作り上げていきたいと思っています。

部活動では、先輩方や同じ学年の仲間たちと切磋琢磨し、自身の成長や部の勝利に貢献することを目標にして努力していきたいと思っています。私は、小学校二年生の時からソフトテニスが続けました。中学校でもソフトテニス部に入る予定です。試合という言葉は、試し合うと書き、今までの練習の成果を試し合う場だと教わってきました。中学校では、総体や新人戦など多くの試合があるため、この教えを忘れずに練習してきたことを全て出し切りたいと思っています。

そして、私が一番意識していきたいことは、人との出会いを大切にすることです。春は別れと出会いの季節と言いますが、私たちは三月までの学び舎と別れを告げ、今こうして新たな出会いを迎えることができました。これから始まる中学校生活に胸が高まる一方、大きな環境の変化や勉強と部活動の両立など、少し不安もあり、悩んだり立ち止まったりしてしまうこともあるかもしれません。そんな時は諸先生方や先輩方から、時には厳しく、時には優しく、良きご助言をいただき、仲間とともに、支え合いながら、一步一步前へ進んでいきたいと思っています。

一度しかない中学校生活を、悔いのないものにするために、今、何をやるべきなのかを考え、中学生としての責任と自覚を持ち、勉強に部活動に全力で取り組んでいこうと思います。そして、たくさんの方の出会いを大切に、仲間との絆を深め、この三年間で最高の思い出をつくらせていきたいです。

最後になりますが、校長先生を始め、諸先生方、そして先輩方、温かいご指導をよろしくおねがいます。私たち187名は、陵南中学校の生徒としての自覚を持ち、実りある中学校生活を送っていくために精進して参ります。

令和6年 4月8日 新入生代表 日下部瑠々

昨年度末の学校運営協議会の承認を得て、今年度の学校運営の基本方針を、次のように決めました。今年度は、方針を絞り込み、具体的な施策も、その方針に沿った部分だけを示しました。職員一同、精一杯取り組んで参ります。

# 令和6年度 陵南中学校学校運営の基本方針

令和6年度 スローガン（目指す学校像）

「生徒も教師も『安心してすごせる学校』の創造」

## 経営方針

### 1 安心してすごせる学級集団づくりを目指す

学級は、学校生活の中で一番長い時間を過ごす場所である。その空間が、安心して過ごしやすい場でなければ、学校に登校することが苦しくなるだけである。

そこで、学級活動を充実させることで、生徒が安心してすごせる学級づくりを行っていききたい。また、その過程で、生徒指導の3機能（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供）を生かし、自治能力のある学級集団を目指す。

### 2 「わかった」「できた」を実感させる授業づくりを目指す

リーディングスキルテストの結果が、全国平均を大きく下回る学年がある。また、どの学年においても定期テストの結果において、点数の二極化が見られる状況にある。

学校を休みがちになった生徒の話には、「勉強がわからない」という思いが語られることも少なくない。

そのことを受け、今求められている学力を念頭に置きながらも、それを重視することより、「わからないからもういい」と授業に参加することをあきらめる生徒を出さないことに重点を置いた授業を目指すようにする。

また、すでにわからないとあきらめている生徒を、授業に向かわせるため、「できた」「わかった」という思いを少しでも体験させることで、学習に向かえない生徒を減らしていきたい。

### 3 教員の生徒・保護者理解の力量を高め、チームで対応する体制を構築する

生徒個々の「ニーズや困り感」を感じ取ったり見取るアセスメントの力をつけたりするとともに、生徒が話しやすく、相談しやすい教員となるよう研修に努めていく。また、いじめや不登校、問題行動等の未然防止と早期対応に向けて、生徒指導力と教育相談力、特別支援教育力を融合し、活用していく必要感を持たなければならない。さらに、課題を解決し、生徒と保護者の身になって対応していくために、教師同士やSC、外部機関や保護者などと協力するチーム支援体制を構築していく必要がある。

保護者に対しては、対峙する形にならないためにも、常に同じ方向を向き、連携することを意識して対応し、学校が「説得する」形から保護者が「納得できる」形にできることを目指していく。

## その他

### 1 地域移行を見据えた部活動改革の推進

### 2 コミュニティ タイムの効果的な運用

木曜の放課後はフリータイムとし、地域が生徒に伝えたいことを伝える場として活用することができるようにする。



※ 具体的な方策等は、PTA総会の資料や、陵南中HPに載せますので、そちらをご覧ください。